

第5章 景観に対する住民意向等の把握

良好な景観を形成するためには、行政だけでなく、住民や事業者等の各主体が八重瀬町の景観について関心を持ち、積極的に取り組むことが重要である。そのため、住民等が八重瀬町の景観をどのように捉え、評価しているかという意向把握及び景観に関する意識啓発を目的に、以下のヒアリング調査及びアンケート調査を実施した。

景観に関する住民意向等の把握

1 八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議活動（住民が対象）

2 景観計画策定に関するアンケート調査（住民が対象）

3 まちづくり関係団体ヒアリング調査（住民及び事業者が対象）

4 庁内関係課ヒアリング調査（町職員が対象）

5 上位・関連計画策定時のアンケート調査及びワークショップからの景観に関する意見の整理



6 景観計画に盛り込むべき項目の抽出・整理

1 八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議活動（住民が対象）

（1）活動の概要

1回目

- ・日 時：平成 23 年 1 月 6 日（木）19:00～21:00
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議（YKV48）メンバー19 名
都市建設課 3 名、コンサルタント 3 名

2回目（フィールドワーク 詳細は p42～48 参照）

- ・日 時：平成 23 年 1 月 23 日（日）10:00～14:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議（YKV48）メンバー22 名
都市建設課 5 名、コンサルタント 3 名

3回目（フィールドワーク 詳細は p49～61 参照）

- ・日 時：平成 23 年 2 月 6 日（日）10:00～13:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議（YKV48）メンバー18 名
都市建設課 4 名、コンサルタント 3 名

4回目（フィールドワーク 詳細は p49～61 参照）

- ・日 時：平成 23 年 2 月 19 日（土）10:00～13:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議（YKV48）メンバー15 名
都市建設課 4 名、コンサルタント 4 名

5回目

- ・日 時：平成 23 年 3 月 4 日（金）19:00～21:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議（YKV48）メンバー15 名
都市建設課 5 名、コンサルタント 3 名

1）活動の目的と方法

YKV48 は、景観に関心があり意欲ある住民等の方々がボランティアとして参加した組織である。

YKV48 メンバーの景観に関する率直な意見を聴取するため、1 回目及び 5 回目に意見交換会を行った。1 回目では八重瀬町の好きな景観等、5 回目では景観計画策定に向けて留意点について意見をうかがった。

(2) 活動結果

八重瀬町の好きな景観等 (網掛け: 景観を阻害しているもの、好ましくない景観)

箇所等	理由、備考等
八重瀬岳 (3票)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧具志頭村の集落、朝日、港川の船を一緒に写せる。基地の側なので警備員に警戒される場合がある。 ・後原集落から八重瀬岳の山並みは昔から眺めており、落ち着く ・国道 507 号から見て、八重瀬岳の斜面が近くに見える時がある (雨が止んだ後)。那覇から来た際、急に山の麓にいる感覚になる。
八重瀬岳からの眺望 (3票)	<ul style="list-style-type: none"> ・300 度位見渡せて感動した ・桜まつりの時は足元が照らされて上まで登れる (夜景)
多々名グスクの山並み (2票)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 507 号を南下すると緑地帯に突き当たる感じがする ・旧具志頭中学校 (現本庁舎) から見た多々名グスクの山並みは中学校時代に眺めており、落ち着く
多々名グスクからの眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・大頓、安里、与座、仲座、富盛、八重瀬岳等が見える。登れる道が欲しい。
具志頭城址からの眺望 (海岸) (4票)	<ul style="list-style-type: none"> ・衝撃を受けた ・ブログで波の様子を毎日更新している
具志頭城址から飛ぶパラグライダー	<ul style="list-style-type: none"> ・山手に見える。色とりどりでキレイ。
テミグラグスク	<ul style="list-style-type: none"> ・360 度見渡せるような山
饒波川	<ul style="list-style-type: none"> ・饒波川沿いを散歩すると水の音が聞こえて気持ちが良い
具志頭の海岸線 (3票)	<ul style="list-style-type: none"> ・船を出して海から海岸線を見てみたい
ぐしちゃん浜 (3票)	<ul style="list-style-type: none"> ・満潮時に 4 つのブリ (巨岩) と朝日を入れて撮影する。季節によっては、朝日と月を両方撮影できる。 ・浸食されたキノコ岩は沖縄らしい独特の景観を創出 ・白水からぐしちゃん浜へ下る道 (キノコ岩、休憩する人達) は、夏の暑い日は磯の香りがしてのどかな感じがする
ぐしちゃん浜の砂浜	<ul style="list-style-type: none"> ・昔、砂が沢山あったらしいが無くなっている (反省点)
ぐしちゃん浜近くの湿地帯 (池)	<ul style="list-style-type: none"> ・養豚場の南側にある。夕日を写す際、稜線がシルエットになる。
玻名城の郷ビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・干潮時、玻名城の郷ビーチからギーザパンタまでリーフを歩きながらサンゴ礁を観察できる。満潮時には行けない。

ギーザバンタ (2 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・壕があるらしい ・昔、ギーザという部落があったが今は無い。慶座井 (ギーザガー) という遺跡がある。久高島が見える。世界大戦時に住民が飛び降りた崖である。展望台、休憩所が欲しい。
ギーザバンタの滝 (2 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・下の浜から見ても迫力がある ・水の音が癒される。余水が下に溜まり藻が発生して危険な状態になっている (自然破壊)
富盛の石彫大獅子 (2 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・神聖な雰囲気がある
富盛の石彫大獅子からの眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇から移り住んできた時、緑の風景に衝撃を受けた
電照菊 (夜) (4 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・県道 82 号線から見える宜次辺りの電照菊。電気料金が安くなる 23 時頃から灯る。 ・大頓や富盛の電照菊は、田舎のイルミネーションのようで癒される ・県道 15 号線から見える安里の土地改良区の電照菊 ・旧具志頭村の電照菊
小城集落	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の近くで坂になっている箇所があり、独特の景観なので残したい
昔ながらの赤瓦屋敷	<ul style="list-style-type: none"> ・屋敷囲いの栗石の石積に赤瓦が連結して見える (東風平集落によくある)
旧集落の路地	<ul style="list-style-type: none"> ・路地のアスファルト化はきれいだが、景観上は問題では
門中墓群	<ul style="list-style-type: none"> ・木が残っており、昔ながらの石造りの亀甲墓が神聖な感じである (東風平、伊覇集落の方々の墓)
新城神社の下の石畳	<ul style="list-style-type: none"> ・途中まではアスファルトが敷かれていたが、石畳が残っていたように思う
伝統芸能 (3 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧東風平町の芸能 (文化的景観) ・各集落の祭り、伝統芸能等の人が集まるイベントの景観は、地域くささが残っていて素晴らしい ・世名城のガンヤー
フクギ並木 (2 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気が良い
国道 507 号の直線部分 (2 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・周りが畑で、ドライブすると気持ちが良い ・畑の中を突き抜ける国道は珍しい (字東風平 ~ 字具志頭)。この道を通ると八重瀬町に来たという感じがする。
県道 15 号線	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹がありドライブすると気持ちが良い
県道 52 号線	<ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬公園の下の並木道

眺望（４票）	<ul style="list-style-type: none"> ・小城の展望台からの眺望（糸満方面） ・具志頭運動公園西側から海への眺望は、稜線の上に海の水平線が見えるアベコベな景色である ・みどりが丘保育園辺りからの眺望は、斜面緑地のボリュームが横から見える。下にゴミが沢山落ちているのは残念。 ・ザ・サザンリンクスから琉名城の郷ビーチへ下りる道からの眺望
夜景（５票）	<ul style="list-style-type: none"> ・県道 15 号線からの安里側の夜景 ・仲座側から見たメーヌ山の前の夜景（与座・安里・具志頭） ・宜次（徳洲会病院辺り）から南風原方面を見た夜景（高速道路） ・上田原（しらかわファーム辺り）から南風原方面を見た夜景 ・上田原（沖縄県企業局伊覇調整池（上田原の貯水タンク）辺り、絶壁になっている）から南風原方面を見た眺望（夜景）
友寄馬場公園	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなシーサーの遊具がある
小城体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を壊しているので、見えないようにした方が良い
西部プラザ公園の鳥の水のみ場	<ul style="list-style-type: none"> ・遠目にも目立つ。違和感の無いように工夫できないものか。
ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが多すぎる（道路、河川等）。沖縄の景観上の 1 番の問題点。
色のきつい建物	<ul style="list-style-type: none"> ・景観的にどうかと思う
道路の残地	<ul style="list-style-type: none"> ・東風平三叉路にある。放置されており何とかならないか。
歩道が途切れている箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者が見て良く思えないのではないか
適切に維持管理されていない街路樹	<ul style="list-style-type: none"> ・みっともなく見える

八重瀬町景観計画策定の留意点

自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・自然（緑・山・海）を守る ・自然を残すための開発規制 ・湿地・海岸地形・地下景観の保護
緑の保全・創出・育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・緑を残す、増やす ・緑（街路樹、住宅、農地、山等）を育てる ・緑を豊かに植栽

	<ul style="list-style-type: none"> ・緑やカラフルな花の植栽 ・アパート等の敷地内に木や花を植える ・街に緑・花を増やす（街路樹・屋敷内・空地） ・屋上緑化 ・地域に合った街路樹・植栽 ・南国らしい色のある木を植樹（イッペー等） ・花の咲く樹を植える（イッペー等） ・桜まつり、イッペー祭り等
街路樹の配置・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を増やす ・緑の種類・植樹方法の統一（町全体又は地域毎） ・街路樹の統一 ・道路植樹の維持管理（沿道地域の住民の力を借りて） ・地域で植栽管理（草刈、枯枝の剪定等）
農村景観の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・田園風景 ・田園風景（観光振興と連動して農村地域をイメージした緑を増やす） ・農村景観を残す ・都市的景観と田園的景観とのメリハリを付ける
水辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺（河川、海）の整備・活用 ・港景観の整備
眺望点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも容易にアクセスできるような眺望点の整備 ・景勝地の整備（トイレ、休憩所、博物館、遊歩道等）
歩道・自転車道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員が広く、快適・安全でやさしい歩道の整備 ・歩きやすい、歩いてみたくなる道・歩道の整備 ・八重瀬町を一周できる自転車道の整備
無電中化、電線類地中化等	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱・電線の地中化（4票） ・電柱・電線が見えないよう工夫する（位置・高さ・樹木に合わせて整理） ・電柱を少なくする ・道路空間の乱雑さを減らすルールづくり
看板・屋外広告物のルールづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・看板のあり方を検討する ・看板の色・デザインの統一 ・屋外広告物のルールづくり
建物のルールづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の形・色・高さ等の規制（市街地、農村集落、漁村等の地域毎に） ・雑然ではなく整然とした都市部の街並み整備（建物の色や高さの規制）

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にマッチした建物の高さ制限 ・建物の色彩基準（けばけばしい色の建物ができないように） ・住宅、建物の継続的な維持管理（色落ちやコンクリート劣化防止等） ・工場等の立地の際、八重瀬の景観に溶け込んだデザイン等の工夫を事業者働きかける ・場所に合った建物の規模・デザイン等の規制 ・周辺環境に配慮した開発規制（海岸周辺での大規模リゾート開発の規制等） ・低層住宅地である集落環境に調和する建物の規模・用途等の制限
歴史・文化的資源の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性を残して強調する ・モデル地区として昔の街並み再現（赤瓦の建物、植栽（桜）等）（例：富盛） ・ブロック塀から石積や粟石等に変更（地域毎に統一感を出す） ・赤瓦屋根の建物を沖縄の良さとして保全・活用する
シンボルづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬町の入口が分かる目印の設置（町のシンボルをモチーフにデザイン） ・八重瀬町の玄関口に特徴的なシンボルやゲートを設置する
人づくり・体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの育成（植栽から維持管理まで） ・人材育成（地域住民の意識・知識の向上） ・景観行政団体への移行（専門家も交えて行政がある程度リードする）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬のリズムに合った穏やかな変化（都市化）が望ましい ・静かなベッドタウン ・憩える空間づくり（癒し・心のゆとり）



【1回目の様子】



【5 回目の様子】